

## 「認知症の方を支援して」

介護保険が平成12年にスタートして17年。開始当初からケアマネジャーとして様々な方の生活のお手伝いをさせていただきました。ここではこの間に私が出会い「介護サービスを利用してよかった!」と思った3名の方のエピソードを紹介させていただきます。

### クモ膜下出血後遺症の認知症

60代前半の男性。身体の機能はリハビリを受けて元氣になりましたが、少しHな気持ちでコントロールできません。ショートステイ先で女性のお尻を触り転倒させそうになり利用禁止。

しかし面倒見の良いデイサービスを探し、本人を傷つけずさりげなく気をそらす等の神対応で毎日楽しく通うことが出来ました。カラオケや力仕事はお手の物。夜間の泊まりも対応OKとなりました。(なぜか、この人は私に指一本触れませんでした?)

### 転倒骨折入院で理解力が低下

80代後半のかわいいレディ。娘さんや孫と同居して楽しく過ごしていましたが、ある日転倒。大たい骨折で入院したのをきっかけに少し判断力が低下。退院直後なのに自分が入院手術したことも忘れ外出したり、冷蔵庫に「あらまあ?」な物を入れたり、口いっぱ

いに食べ物を入れたり・・・

そこで訪問リハビリの理学療法士さんを頼み、一緒に歩行練習や体操をしたり、好きなレクリエーションを楽しんだ結果、理解力や記憶力の低下を防ぐことができました。また、訪問看護師さんには月1回家族に介護の工夫等を教えてもらい、今では家族が休む時間が持てるようショートステイも時々利用。おかげで今でも和氣満々。

### 一人暮らしの元キャリアウーマン

90代前半の一人暮らしの女性。若い頃は大手銀行に勤め、これまではっきり生活されてきました。が、最近お金や書類の管理があらふやになってきました。

週4回訪問しているヘルパーさんとは一緒に掃除や外出をしています。お手伝いには限度があります。そこで詐欺被害などを心配して社会福祉協議会に相談。日常自立支援事業につなげました。彼女は社交的なのが長所ですが、お金をすぐに他人にあげてしまうことが見受けられていたので、これでひと安心となりました。

### これからも住み慣れた江東区で暮らす

一人暮らしになっても、認知症になっても、病気になるっても、私たちは自分の望む生活を

## 「長寿サポートセンターって何ですか?」

長寿サポートセンターは江東区が設置している高齢者の相談窓口です。全国的には「地域包括支援センター」という名前が知られていますが、江東区では「長寿サポートセンター」という名前になっています。江東区も以前は地域包括支援センターでしたが、何をするとどこかわかりにくいという意見があったので、より親しまれる愛称をということで長寿サポートセンターという名前になりました。わかりにくいのは、高齢者の相談窓口が二種類あったせいかもしれません。今年の4月から、長寿サポートセンターに一本化し、区内の21か所に設置されています。

だいたい高齢者5000人に対して長寿サポートセンターが一カ所あるようになっていて、「より身近できめ細かい相談対応ができるようになったはず」と区の担当者は言っていました。区民の方にも評価していただけたかどうかはこれからの我々の努力次第だとは思いますが、高齢者の相談窓口が一本化されたことで少しはわかりやすくなったのではないかと思います。

### 高齢者の方のご相談への対応が我々の仕事です

高齢者になると、個人差はありますが、体が動かしづらくなる、物忘れが出てくるなどの困りごとが出てくる場合があります。介護保険制度もそうですが、介護保険以外にも江

東区が高齢者の方のために用意している制度が多くあります。高齢者の方が困っていることについて一緒に考えて、どうすれば困ったことが解決できるのか、どんな制度を利用するかなどご説明することが、私たちの主な仕事です。

いざサービスを利用する時になると大なり小なり手続きが必要になります。要介護認定の申請や江東区のサービスの利用申請など役所が絡むものは手続きが必要です。高齢者の方が必要とするサービス手続きの多くは私たちが受け付けることができます。また、当センターで担当できない相談内容に対しては、担当できる部署等をご紹介しますことも私たちの大事な業務になっています。

### ご相談ください

—気軽に、早く、どなたでも—

高齢者の方のことであれば「とりあえず長寿サポートセンターに相談してみよう」と思っていただけで良いと思います。実際にセンターまで来られない方でも、お電話をいただければご訪問いたします。高齢者が直面する問題は、介護にしても認知症にしても、早めに対応しないとどんどん状態が悪くなることが多いです。大変な状態になってしまっただけから相談するのではなく、できるだけ早く相談していただき、「介護予防」に取り組んでいただきたいと思います。また、本人は

送りたいと思うのは当たり前のこと。自宅での生活や介護が限界ということも場合によってはありますが、まず困ったな!と思ったら医療・介護の仕事をしている私たちに相談してください。一緒に考えればきっと良い方法が見つかります。

一度きりの人生を楽しく過ごすお手伝い。この思いを大切にして、私たちは毎日がんばっています。ともに歩みましょう♡

由良 久美子さん

野口(株)介護ショップハーティケア  
主任介護支援専門員・看護師



大変な状態でも「仕方がない」と思っていたり、大変だと自覚していなかったりする場合も多くあります。高齢者ご本人やご家族だけでなく、ご友人や地域の方からの相談もお聞きしています。「あの人大丈夫かな、気になるなあ」という高齢者を見かけたなら匿名でも結構ですので教えていただくと大変助かります。

長寿サポートセンターはまだまだ区民の皆さんに充分には知られていないのが現状です。「高齢者のことなら長寿サポートセンター」と多くの方に認識してもらえようように今後も努力していきたいと思えます。

森田 莊太郎さん

古石場長寿サポートセンター  
介護支援専門員・社会福祉士

